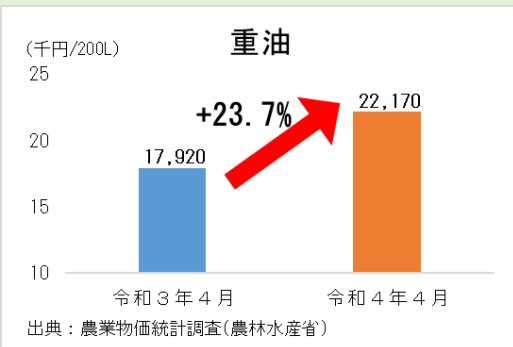


現状・課題

1 燃油価格の高騰

コロナ禍からの経済回復やウクライナ情勢の緊迫化により、燃油価格が高騰

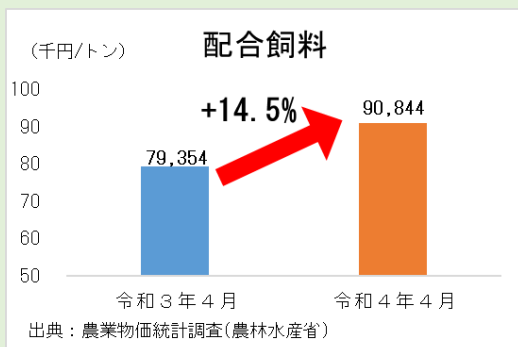
- ・施設園芸は経営費に占める燃料費が高い
- ・本道は寒冷地のため燃料費高騰の影響を受けやすい



2 配合飼料価格の高騰

世界的な穀物需要の増加やウクライナ情勢等に伴い、とうもろこし等の飼料価格が高騰

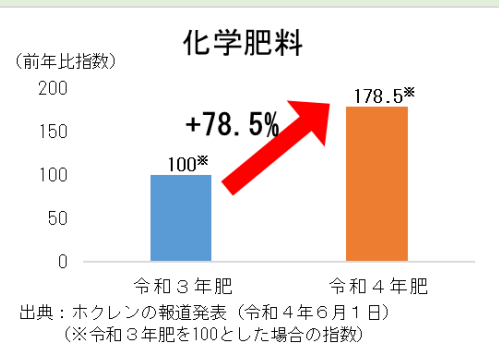
- ・道内酪農畜産の飼料自給率は52%
- ・道産飼料の安定供給体制の確立が課題



3 肥料価格の高騰

世界的な穀物需要の増加やエネルギー価格の上昇により、肥料原料価格が高騰

- ・肥料原料価格が昨年に比べ大幅に上昇
- ・大規模経営は、肥料高騰の影響が大きい



国の緊急対策

1 燃油価格の高騰対策

- **施設園芸セーフティネット構築事業【基金】**
農業者と国が積み立てを行い、燃油価格の上昇に応じて補てん金を交付
 <拡充内容>
発動基準価格の170%までの高騰に備えるコースの新設により、セーフティネット機能を強化(150%→170%)

- **産地生産基盤パワーアップ事業【令和3年度補正 310億円】**
施設園芸における省エネ機器の導入を支援する「施設園芸エネルギー転換枠」を措置
 <拡充内容>
燃油価格の高止まりに対応し、「施設園芸エネルギー転換枠」を10億円から20億円に拡充

2 配合飼料価格の高騰対策

- **配合飼料価格高騰緊急対策事業【令和4年度一般予備費 435億円】**
配合飼料価格の高騰による影響を緩和する配合飼料価格安定制度により補填金を交付
 <拡充内容>
 ・制度の異常補填基金に435億円を積み増し
 ・異常補填金の発動基準の引き下げ(115%→112.5%)

3 肥料価格の高騰対策

- **肥料コスト低減体系緊急転換事業【令和3年度補正 45億円】**
肥料コストを低減する技術を活用した取組などを支援
 ・土壌診断に基づく施肥設計の見直しを支援
 ・肥料コスト又は施肥量を低減する技術を活用した取組の実証を支援
- **化学肥料原料調達支援緊急対策事業【令和4年度一般予備費 100億円】**
肥料製造業者が代替国から原料調達する場合の掛かり増し経費を緊急的に支援

道における対応

※地方創生臨時交付金を活用

1 燃油価格の高騰対策

《道の取組》
国のセーフティネットにより、農業者の負担軽減を図るとともに、施設園芸におけるエネルギー転換を促進するため、省エネ機器・設備等の導入を支援

- **施設園芸エネルギー転換促進事業**
施設園芸におけるエネルギー転換を促進するため、省エネ機器・設備等の導入を支援(1/2補助)
 ・無加温ハウスの整備
 ・省エネ機器・資材等の導入
予算額 2.5億円

【国費提案】
施設園芸の加温に要する費用の増加を鑑み、燃油価格高騰対策事業の予算確保を要望

2 配合飼料価格の高騰対策

《道の取組》
国の配合飼料価格安定基金により、農業者の負担軽減を図るとともに、道産飼料の安定供給体制の確立に向け、農業者の機械導入を支援

- **自給飼料生産利用推進緊急対策事業**
輸入飼料に依存しない畜産経営の確立のため、飼料生産用の機械導入を支援(1/2補助)
 ・耕種農家向け…子実コーン・飼料用米関連機械の導入
 ・畜産農家向け…飼料用米関連機械(コンバイン)の導入
予算額 1億円

【国費提案】
配合飼料価格の高騰を鑑み、農家負担を軽減する配合飼料価格安定制度の安定的な運用に必要な予算確保を要望

3 肥料価格の高騰対策

《道の取組》
国の対策により、肥料コスト低減体系への転換に向けた取組を推進するとともに、農業者が直面する肥料価格高騰に対する負担軽減を図るため、肥料購入支援として定額給付を実施

- **化学肥料購入支援金給付事業**
肥料購入費の負担を軽減するため、農業者に肥料購入支援金を給付
 ・定額 3,125円/t (上限)
予算額 21億円

【国費提案】
農業生産活動への影響を鑑み、肥料高騰時におけるセーフティネット等の経営安定対策を要望

■外的要因の影響を受けにくい足腰の強い本道農業を推進
■生産資材価格高騰の影響緩和と輸入依存度の低減